

のもとよしみ通信 NO. 4

2008年1月



事務所 〒229-0202 相模原市藤野町沢井1215 Tel&Fax 042-687-5119

E-mail iki-iki-nonohana@nifty.com <http://homepage2.nifty.com/nomotoyoshimi>

赤ちゃんからお年寄りまで
いきいきと暮らせるまちに

新年明けましておめでとうございます

2008年の幕開けです。みなさんはどんな目標を立てられましたか。私の議員としての活動目標は、合併後の新市のまちづくりや政令指定都市移行への議論を進める中で、住民生活の福祉向上、都市内分権、50年後を見据えたまちづくりを実現していくことです。

また、私生活での目標は、一文字でいうなら「想」。昨年は多忙で、心のゆとりが持てず、反省することが山ほどありました。今年は、時折深呼吸をしながら、生活したいなあと思っています。

本年もどうかよろしくお願いします。

相模原市議会議員 野元 好美



政令指定都市に関する市民説明会

市内 26 会場で政令指定都市ビジョン案、区割りの素案などの説明があります。ご都合のつく日時、場所にお出かけください。

☆津久井地域の会場案内☆

- 1月28日(月) 夜7時～9時
藤野総合事務所
さがみ湖リフレッシュセンター
- 1月29日(火) 夜7時～9時
藤野農村環境改善センター
相模湖総合事務所
鳥屋地域センター
- 1月30日(水) 夜7時～9時
城山公民館
串川地域センター
- 2月3日(日) 夜7時～9時
津久井文化福祉会館

相模原市議会報告&新年会のご案内

相模原市議会議員として活動を開始して、8ヶ月が経過しました。

これまでの議会報告をさせていただきながら、みなさまと親しく意見交換をできればと思い、下記のとおり、市議会報告会&新年会を企画しました。みなさまお誘いあわせのうえ、どうぞお気軽にご参加ください。

記

日時：1月26日(土) 13時～16時

場所：藤野芸術の家 会議室

会費：300円

お問合せ：のもとよしみ事務所

TEL&FAX 042-687-5119



のもとよしみの代表質問

12月4日、初めての代表質問を行いました。質問時間は50分。都市と里山の共存、都市内分権・庁内分権の確立、地域の実情にあった施策の展開、市民が安心できる防災体制。喫緊の課題について5つの観点から市の姿勢を質しました。(市のホームページで録画をご覧になれます。)

政令指定都市への移行について

のもと:本市は他の政令指定都市にはない「水源地域と都市との共存」という特徴を有している。「水源都市」「環境都市」を前面に出したイメージ戦略が有効ではないか。

市長:水源地域としての豊かな自然環境と都市機能の集積を併せ持つことは、本市の大きな特徴の一つ。「環境と共生した持続可能な都市づくり」を基本方針とし、環境分野の先進都市をめざしてまいりたい。

のもと:市民との協働の基本は、行政側の情報公開。政令市移行が及ぼす財政への影響や財政推計についても積極的に公開すべき。また、先行の政令市では、下水道料金の値上げなど市民負担が増加した例もある。市民負担についてはどのような方針か。

市長:県との事務移譲協議の進展に応じて、また基本協定締結の段階で、財政への影響について、市民への周知に努めていく。政令市移行後の安定した行財政運営を保つことを基本に、市民負担の増加が生じないように、移行への取り組みを進めてまいりたい。

のもと:9月議会で「22年度には、消費的経費が約百億円増加し、逆に投資的経費を百億円減らす財政運営になる」との答弁があった。国県道の整備・管理を県から移管されても、財政上、さがみ縦貫道、津久井広域道路の建設が遅れるのではないのか。

市長:広域幹線道路は、新市一体化のまちづくりを進める中で、計画的に整備を進めることが重要。投資的経費の確保は、県との協議を進めると共に、行財政改革のさらなる推進と税収増を図る諸施策の実施などで対応を図っていく。

のもと:区役所は、市民のみなさんの移動負担が少ない場所にするべき。また、共通する地域特性や今後のまちづくりのあり方という視点も必要。区役所までのアクセスと区割りについての見解は。

市長:試案の区役所は、比較的、利便性が高い位置にあると考えるが、津久井地域は面積も広大。区役所の位置、機能の検討と併せて、総合事務所の機能について、検討してまいりたい。また、試案は将来のまちづくりの視点を重視している。

のもと:総合事務所、出張所、連絡所の縮小・廃止はないか。また、まちづくり機能は旧町単位で残すべきではないか。

市長:総合事務所等については、地域の実情や区役所の位置などを勘案し、検討を進める。津久井地域の出張所・連絡所は配置を継続するが、業務内容については、旧市の出張所・連絡所との整合を図っていく。(仮称)区民会議の設置等により、各区の特徴を活かしたまちづくりに取り組む。

のもと:線引きは、地域協議会のみならず、自治会単位などの単位で説明し、市民と市が共通の目標をもって歩むことが必要では。

市長:将来のまちづくりは、自治会単位にとどまらず、より広域的な観点が必要で、地域協議会で議論いただいている。パブリックコメントの実施や説明会の実施方法の工夫をし、多くの市民の意見をお聞きしたい。



ごみ収集は津久井方式で

ごみ処理や排水処理などの「一般廃棄物処理基本計画」が3月までに策定されます。市は、津久井地域のごみ収集は、旧市内の方法と回数に合わせる方針です（下表参照）。**の**もとは、変更に伴い増える経費やごみの予想量を示した上で、地域住民に意見を聞いて収集回数などを決定するように求めました。

しかし、市は、経費比較すら行っておらず、不公平感が生じるなどの理由で、統一した制度とすると答弁。私は一般ごみの収集は、週2回で十分であり、1回分の経費はゴミ箱設置補助（合併協議では、合併後3年をめどに廃止の方向）などにまわす方が有効と考えます。みなさんはどんなご意見ですか。

また、ごみ減量のためのスーパー袋の有料化、津久井クリーンセンターの再整備計画についても質しました。

◆容器包装プラスチック→週1回収集

◆資源ごみ（ビン、缶、金物類、布類、蛍光管、油、水銀体温計、紙類）→週1回収集

◆一般ゴミ（生ゴミなど）→週3回収集

地域にあった福祉施策を～福祉有償運送～

旧市内では、重度障がい者（1級・2級）の方が、通院、買い物などに利用できる無料送迎福祉バス「あじさい号」を運行しています。一方、津久井地域では、社協やNPO法人事業者による有償運送しかなく、しかも、社協の送迎は、買い物などには利用できません。

そこで、格差是正を求めると共に、地域特性にあった福祉運送が継続できるように、事業者への補助制度を創設すること、福祉有償運送についての情報をまとめて、市民にわかりやすく提供することを求めました。

市は、NPO法人の活動を「市民が行なう自由な社会貢献活動」とし、補助制度の創設は難しいと回答。**の**もとは、事業者の厳しい運営状況を伝え、障がい者の方の移動の自由を保障するためにも、実態把握に努め、必要な支援をするように要望しました。

災害時に機能する防災計画を

市は、現在、「地域防災計画」改定にむけて検討中。津久井地域の特性を考慮し、緊急時に機能する防災計画の策定を求めました。市長は、中山間地の集落の孤立化対策や現地対策本部の設置などの防災体制について検討していると答弁。また、防災放送（ひばり放送）は、システムがデジタル化された後も、一斉放送と地域を選択した放送が可能になるそうです。災害発生時、避難命令などの発令が遅れることのないように、現地での裁量権と迅速な指揮命令系統の確立を求めました。

ずさんな工事費計上を追求



議案131号は、JR相模線の立体交差工事委託について。当初予算では、総額36億円（JR工事委託が25億円、市道路工事が11億円）でしたが、今回の補正で、総額34億円（JR工事委託が17億1000万円、市工事が16億9000万円）に。内訳を見るとJR分が工事方法の変更などで、8億円の減に対し、市の工事は6億円近く増。周辺環境の調査や積算がずさんだったことが判明しました。

予算計上段階での周辺状況調査基本マニュアルの作成と工法の慎重な選定、JRへの委託契約に備えた職員の研鑽を要望しました。

「政令指定都市移行に向けた神奈川県から相模原市への事務移譲に関する県市基本協定等の締結について議会の議決事件と定める条例について」

議員から提案された上記議案について、私は賛成しました。県との協議内容には、移譲事務の種類や県債の市の負担割合などがあり、政令指定都市移行後の住民サービスや行財政運営へ大きな影響を与えます。基本協定締結の前に、議会での内容について議論することが、市民への情報公開と議会としてのチェック機能を果たすことになるとの判断からです。残念ながら、市議会としては不採択になりました（16対35）。

民生委員会 (12/12)

□小児医療費、小学校3年生まで無料に

現在、小児医療費助成の対象は、小学校入学前までですが、来年度から3年生までに拡大されます。対象となる家庭には、3月下旬に医療証が送付されます。

手続き方法は、市内の医療機関では、医療証を病院窓口に提示するだけ。市外・県外の医療機関では、医療費をいったん支払っていただき、領収書を総合事務所の担当課に提出してください。支払い分が後日戻ってきます。

□津久井地域の児童クラブ、充実へ

来年度から、未設置だった城山町の広陵小学校、広田小学校に児童クラブが新設され、津久井町の中野小学校では、敷地内の移転で、定員が40名から60名に拡大されます。また、小学校区に児童クラブがないため送迎が必要な児童（藤野北小、桂北小、千木良小、津久井中央小）は、民間タクシー会社に委託して、移送が行われます。

来年度の児童クラブ入所希望者受付は、12月25日から1月21日まで。条例変更のため、受付が遅くなりましたが、就労証明書の提出期限などは配慮するそうです。

のものは、津久井地域については、移行措置後も6年生までの受け入れを継続するように、検討を要請しました。

□妊婦検診、新年度から5回分無料に

のものは、9月の委員会で産科医療の救急体制問題を取り上げ、飛び込み出産のリスクを避けるため、検診の公費負担回数を増やし、経済的負担を軽減するように要望しました。

相模原市では、来年度から5回の検診が無料で受診できるようになります。

のものは、市民のみなさんに周知する方法の工夫と国の指針にある検査項目（C型肝炎、血糖、子宮頸がんの検査）についても、公費負担とすることを検討するよう要望しました。



視察報告 福岡市 精神保健福祉センター&放課後子どもプランを視察 (11/8,9)

政令指定都市になると、精神保健福祉センターを設置しなければなりません。福岡市は、人口140万人、7つの行政区ごとに保健所があり、精神保健福祉センターは1つ。他に地域生活支援センターが3か所あるそうです（7区に設置していく計画）。相模原市では、施設と専門職員の確保が課題となります。

また、放課後子どもプランについては、長い歴史のある「留守家庭子ども会事業（学童

保育）」と「昼間校庭開放事業」のノウハウを生かし、福岡方式のプランを検討していました。スタッフ養成と支援などを行なう「推進センター」の設置を考えている点に感心しました。

何よりこどもに関わる「ひと」が大切です！



福岡市精神保健福祉センター内の電話相談室

政令指定都市に関する特別委員会 (12/18)

県から委譲される事務について、所管局ごとに説明がありました。政令指定都市になると、人事委員会、児童相談所、精神保健福祉センターなどの設置が義務づけられ、小中学校教職員の任免なども市で行なうことになります。そのため、施設の設置や専門職員の確保、財政負担が課題となります。

また、国県道の管理については、委譲される路線名や国との費用負担割合、平成18年度の県の決算額は示されましたが、県債償還金（借金）については、明らかにされませんでした。県債償還金を市がどれだけ負うことになるのかは、市の財政運営に大きな影響を与えるだけに、県との協議が注目されます。

京都府綾部市「水源の里シンポジウム」に参加 (10/18,19)

綾部市で開催された「水源の里シンポジウム」には、51 市町村、850 名の参加があり、大盛況でした。それは、過疎化、高齢化が進み、深刻な問題を抱える自治体が多く存在することの裏返しでもあります。

綾部市では、全国で始めて限界集落を対象にした「水源の里条例」を今春施行。水源地域で高齢化率が60%以上などの5自治会を対象に、定住促進や特産品開発などへの助成を行なっています。主役はあくまで地域住民。

現状報告では、初めはあきらめの言葉しか出てこなかった自治会での話し合いが、職員の根気強い励ましから「やれることをやってみよう」に変わり、トチ餅作りの復活や山菜の販売、特産品作りに取り組む近況が報告さ

れました。集落を訪ねましたが、みなさんの生き生きとした笑顔が実に印象的でした。



基調講演では、

「限界集落（※注参照）」の名づけの親、長野大の大野教授が、各地の限界集落化で、伝統芸能や日本の原風景の喪失や山林の荒廃が進み、保水力を失った国土が災害や海の荒廃をもたらすと指摘。早急に対策を講じる必要性を強調されました。大会の最後には、限界集落を抱える自治体が情報交換し、国や都道府県に政策提言する「(仮)全国水源の里連絡協議会」を設立する大会アピールを採択しました。

合併で水源地域と都市部が一つの自治体になった相模原市。悩める多くの自治体の先進事例となれるように、**のもと**は共存共栄のための施策を提案していきます。

(※注) 限界集落

65 歳以上の高齢者が住民の 50%を超え、冠婚葬祭や水路、生活道路の管理など社会的共同体としての機能の維持が難しくなった集落のこと。

沖縄 基地の現状と伊江島のバイオエタノール実験プラントの現地調査 (11/11～13)

初めての会派視察の目的地は沖縄。米軍再編問題に揺れる沖縄の現状と、自然エネルギーの開発を視察することが目的です。

米軍再編では、辺野古沿岸に新しい米軍基地を建設することが日米合意されています。反対運動のため、辺野古沿岸の監視をしていた女性の話では、「最初はみんな基地建設反対だった。でも、抗議行動するボートを阻止するため、地元漁船が雇われ、地元が分断されてしまった。」

海水浴の季節を過ぎていたためか、島全体に活気が感じられませんでした。タクシー運転手さんいわく、「月収 7 万円で家族みんなで暮らす時もある。」一方で、本土の大手ゼネコンによる大型リゾート開発が行われていました。地元の方の話では、1 泊 20 万円の部屋があるホテルも建設されるとか。格差社会を

感じました。

伊江島では、高バイオマス量サトウキビ（通常 1 株は 7 本ですが、20～30 本になる

改良品種）からエタノールを抽出し、ガソリンに混ぜて公用車に使用していました。まだまだ課題はあるそうですが、自然エネルギーの開発は重要性、緊急性を増しており、今後の取り組みが期待されます。

帰りの機内で、米軍再編交付金の対象外だった恩納村、宜野座村、金武町が、「消防施設整備への協力などを条件に、共同使用受け入れを表明」とのニュースが流れました。

苦しく、悲しい選択に基地問題の根深さを痛感しました。



バイオエタノール
実験プラント

あれこれ

月額5千円か、月に90枚か 紙おむつの話、です



「城山町では月に5千円しかもらえないのに、津久井町ではなんで紙おむつを90枚ももらえるの？」介護をしている女性から寝たきり高齢者への市の支給事業について、疑問の声が。調べたところ、合併方針では、「合併時に相模原市の制度に統合する」ことになっていましたが、今年度までは、旧町の制度のまま（藤野町は紙おむつや清拭剤などの購入費の半額を支給）。同じ市内でも違いがあったのです。

市は来年度から原則として旧市の制度（非課税または均等割のみ課税の世帯に紙おむつを支給）に統合する予定ですが、各町ごとに移行措置を検討しているそうです。



先行政令市 堺市役所にて（10月17日）

3月議会の日程

- 2月19日（火）本会議（提案説明）
- 3月3日（月）代表質問・個人質疑
- 4日（火）一般質問
- 5日（水）一般質問
- 6日（木）一般質問
- 7日（金）一般質問
- 11日（火）～17日（月）各常任委員会
- 26日（水）本会議

*のものは一般質問を行います。
ぜひ傍聴ください。

じじばば自由大学 1月講座 新春！落語会

春から宅老所をオープンする家でのイベントです。初笑いで福を呼びましょう！

記

演目：真打・滝川鯉昇（たきがわりしょう）
師匠による「ちりとてちん」

日時：1月19日（土）午後1時30分より

場所：すずかけの家（旧オーストリア芸術家の家）

藤野町牧野1987（篠原）

参加費：前売1000円 当日1200円

昼食付1600円

お問合せ：NPO法人 自遊の広場

042-689-2179（宮内）

秋葉忠利広島市長を招いて

「平和都市広島と藤野・相模原市を結ぶ」

ご母堂が藤野町吉野のご出身、秋葉忠利・広島市長が平和について語ります。

ぜひお出かけください。

記

日時：2月10日（日）

午後1時15分～4時（1時開場）

場所：藤野町総合事務所 3階会議室

（*駐車スペースが少ないので、なるべく乗り合わせでお越し下さい。）

定員：100名 参加費：無料

お問合せ：「平和都市広島と藤野・

相模原市を結ぶ実行委員会」

042-687-3306（三宅）689-2507（佐藤）

042-687-5119（野元）



出張おしゃべりサロン（茶話会）

のもとよしみがおうかがいして、市政への疑問、暮らしの相談をお受けします。

電話、メール、FAXにて事務所までお気軽にご連絡ください。